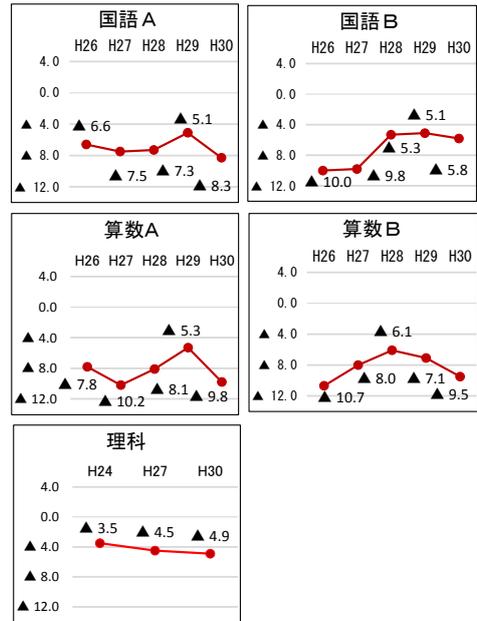


■ 小学校の状況(学校数:25校、児童数:550人)

【平均正答率】

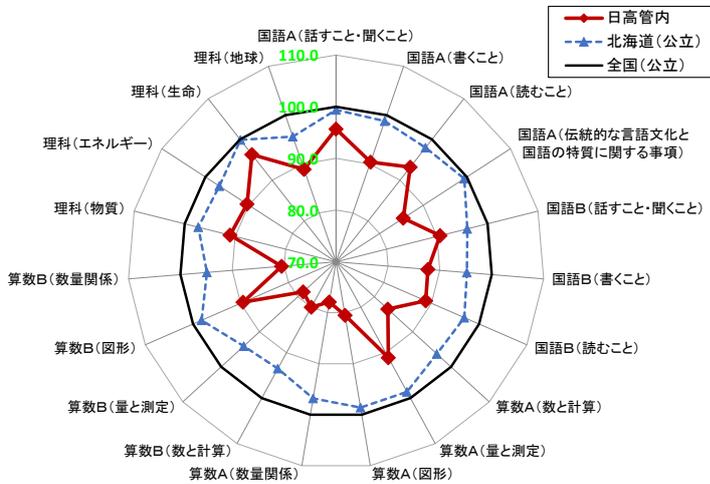
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
日高	62[62.4]	49[48.9]	54[53.7]	42[42.0]	55[55.4]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものを全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出

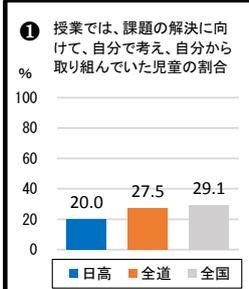


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

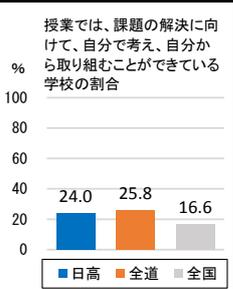
【質問紙の状況】

指導方法

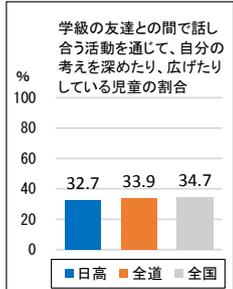
* 児童質問紙



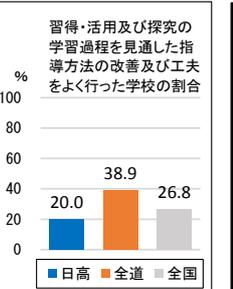
* 学校質問紙



* 児童質問紙

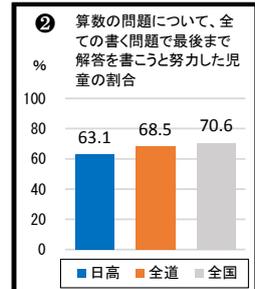


* 学校質問紙



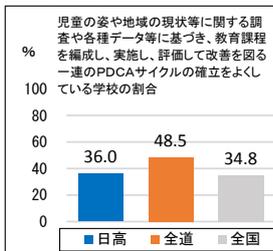
学習意欲

* 児童質問紙

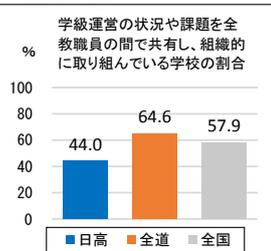


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

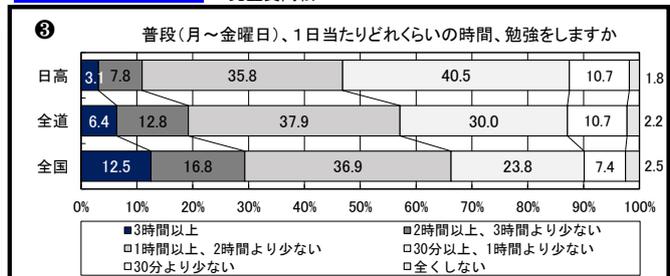


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、理科の「生命」で最も近くなっている。 ○ 全国と比較し、国語A・B、算数A・B、理科の全ての領域で下回っている。特に、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数Aの「数と計算」「図形」「数量関係」、Bの「数と計算」「量と測定」「数量関係」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<p>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていない学校の割合は24.0%であり、全国を上回っているが、授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は20.0%であり、全国を下回っているなど、学校と児童の回答に差が見られることから、単元の学習や一単位時間に何をどのように学ぶのかを明確にするとともに、目的意識を高める課題を設定するなど、「見通す」学習活動の実現を図る必要がある。</p> <p>② 算数の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した児童の割合は63.1%であり、全国を下回っていることから、学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる主体的な学びを一層充実させる必要がある。</p> <p>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は46.7%であり、全国を下回っていることから、授業と宿題とを関連付け、宿題の内容や分量などについて学校全体で共通理解を図り、全校体制で取組を進めるなど、家庭での学習習慣の確立に向けた取組を一層充実させる必要がある。</p>

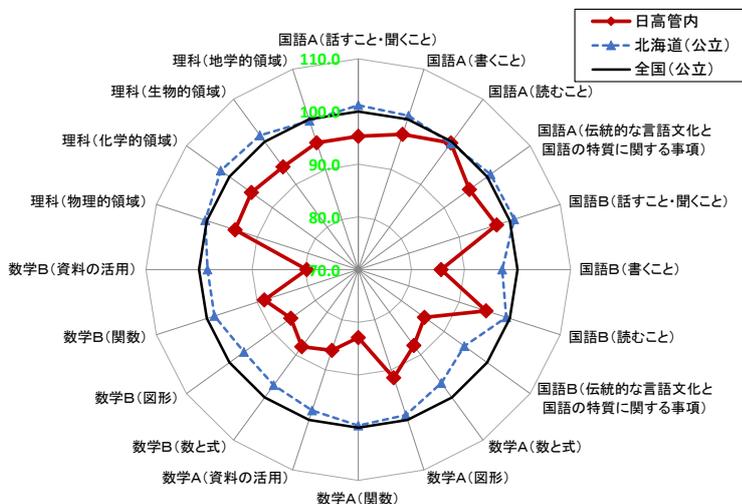
■ 中学校の状況 (学校数: 15校、生徒数: 502人)

【平均正答率】

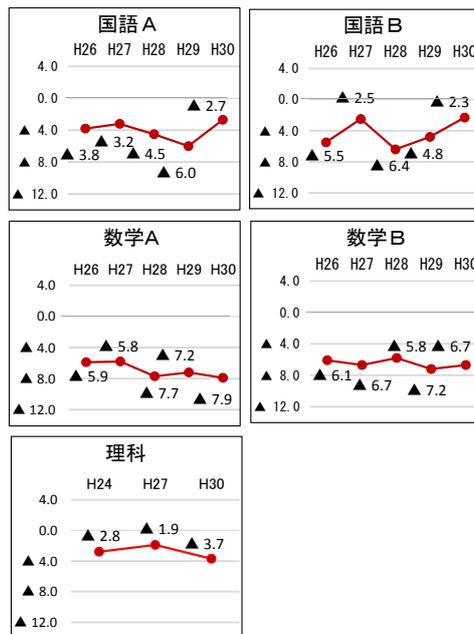
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
日高	73[73.4]	59[58.9]	58[58.2]	40[40.2]	62[62.4]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出



【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

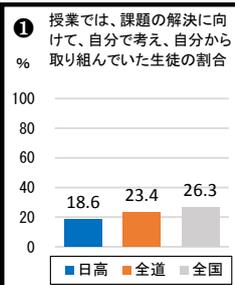


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

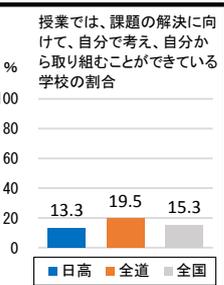
【質問紙の状況】

指導方法

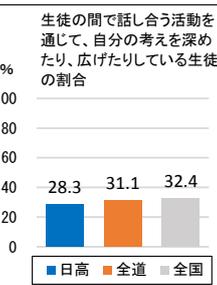
* 生徒質問紙



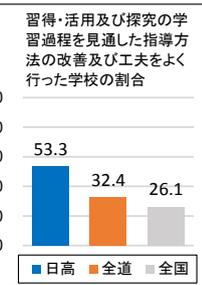
* 学校質問紙



* 生徒質問紙

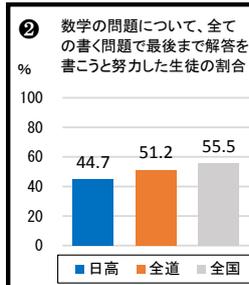


* 学校質問紙



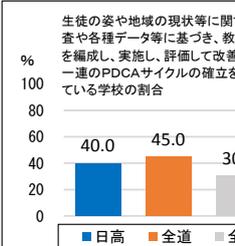
学習意欲

* 生徒質問紙

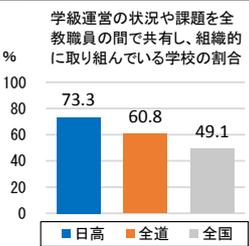


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

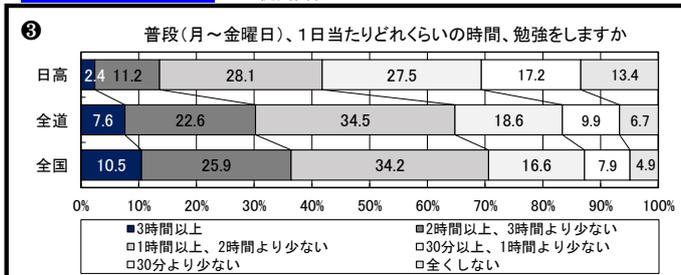


* 学校質問紙



学習習慣

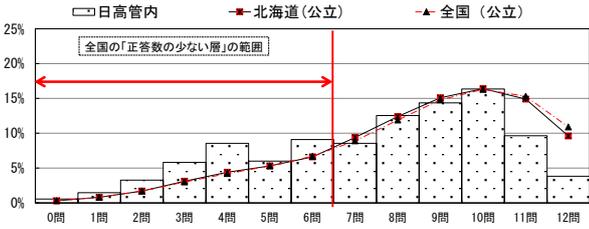
* 生徒質問紙



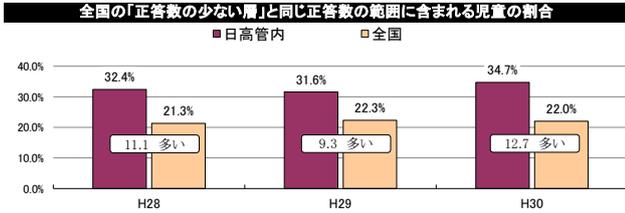
【分析及び改善の方向性】

教科	分析
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、国語Aの「読むこと」でほぼ同様となっている。 ○ 全国と比較し、国語A・B、数学A・B、理科の全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学Aの「関数」、Bの「図形」「資料の活用」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は18.6%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は13.3%であり、いずれも全国を下回っていることから、単元の学習や一単位時間に向どのように学ぶのかを明確にするともに、目的意識を高める課題を設定するなど、「見通す」学習活動の充実を図る必要がある。 ② 数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は44.7%であり、全国を下回っていることから、学ぶことに興味や関心をもち、見直しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる主体的な学びを一層充実させる必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は41.7%であり、全国を下回っていることから、小学校や家庭と連携を図った「家庭学習の手引」の活用など、家庭での学習習慣の確立に向けた取組を一層充実させる必要がある。

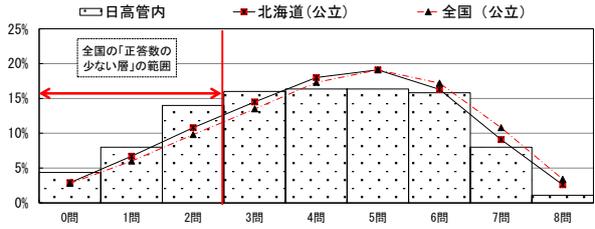
小学校国語A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	550	7.5 / 12	62.4	8.0	2.8
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



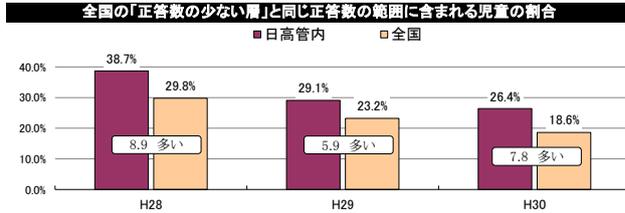
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



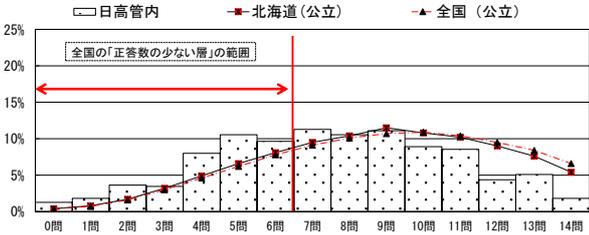
小学校国語B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	550	3.9 / 8	48.9	4.0	2.0
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



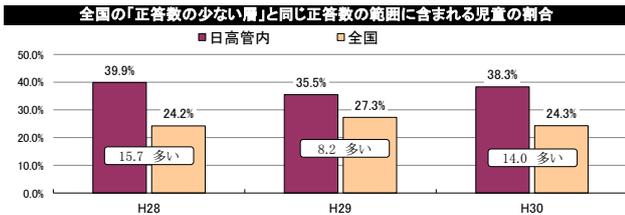
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



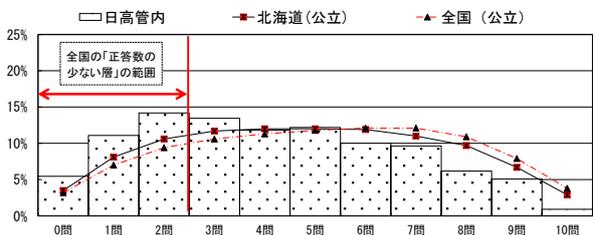
小学校算数A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	550	7.5 / 14	53.7	8.0	3.2
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



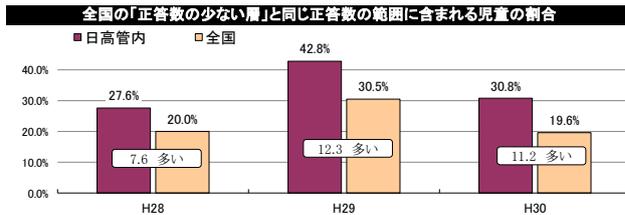
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



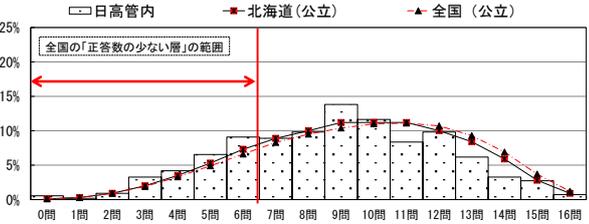
小学校算数B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	550	4.2 / 10	42.0	4.0	2.6
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



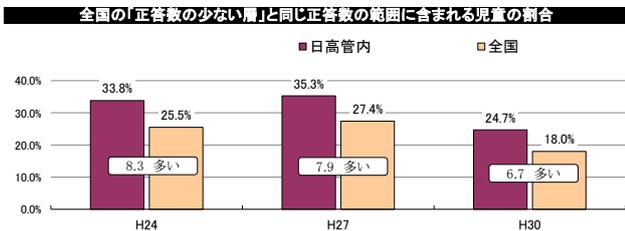
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



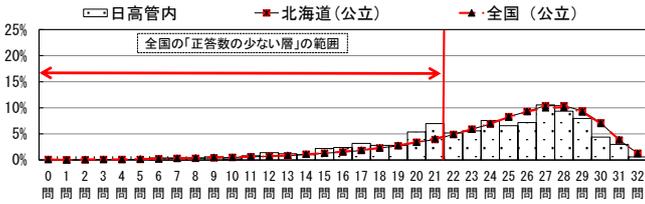
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	550	8.9 / 16	55.4	9.0	3.2
北海道(公立)	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



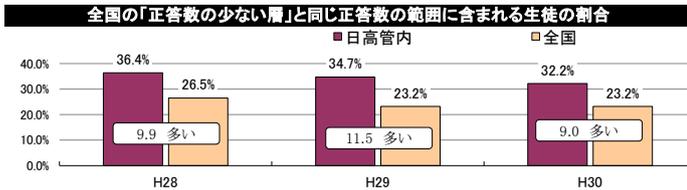
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



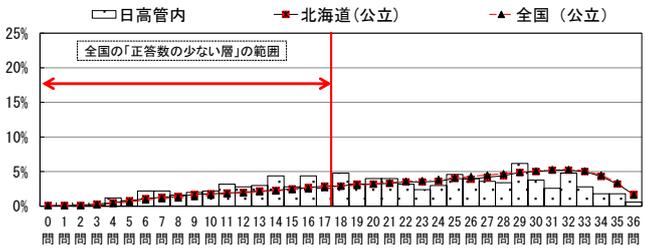
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	502	23.5 / 32	73.4	24.0	5.2
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



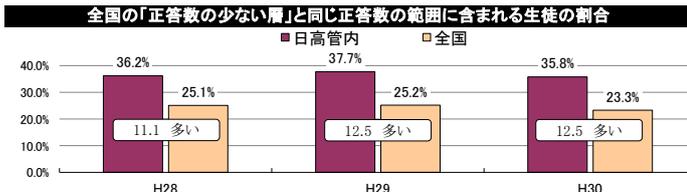
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



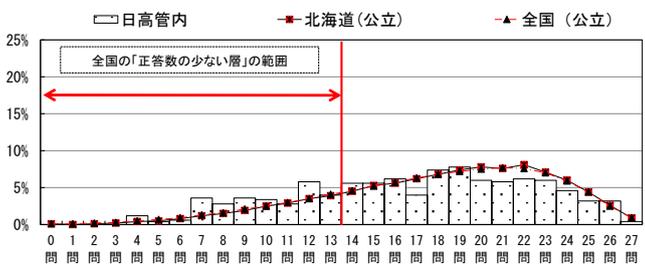
中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	502	21.0 / 36	58.2	21.0	8.3
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



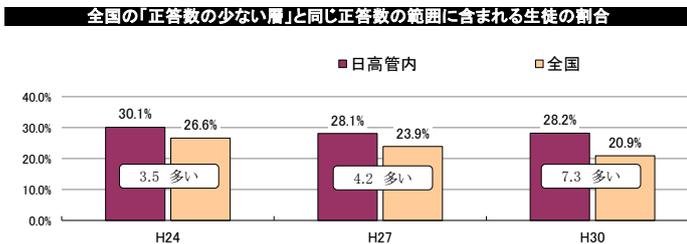
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



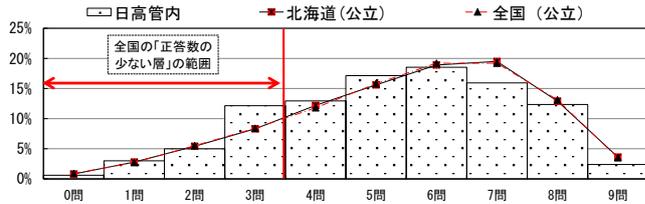
中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	501	16.9 / 27	62.4	18.0	5.5
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



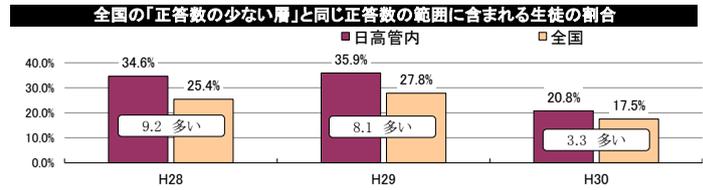
●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



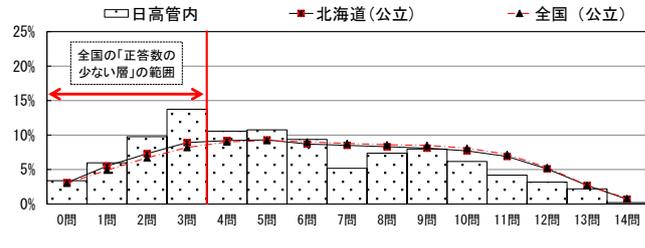
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	502	5.3 / 9	58.9	5.0	2.0
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



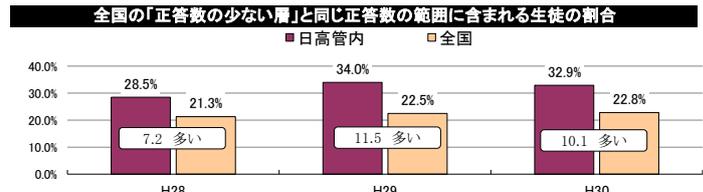
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
日高管内	502	5.6 / 14	40.2	5.0	3.4
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A	
日高管内	全国
44.7%	29.4%
全国との差 15.3多い	
H30中3 : 9.0多い	

小学校国語B	
日高管内	全国
39.2%	26.5%
全国との差 12.7多い	
H30中3 : 3.3多い	

小学校算数A	
日高管内	全国
38.3%	21.7%
全国との差 16.6多い	
H30中3 : 12.5多い	

小学校算数B	
日高管内	全国
39.4%	25.2%
全国との差 14.2多い	
H30中3 : 10.1多い	

小学校理科	
日高管内	全国
35.3%	27.4%
全国との差 7.9多い	
H30中3 : 7.3多い	